

シラバス

理系科学英語夏期海外研修

履修対象

理学部の1～4年生（他学部の学生も参加を認めることがある）

授業形態：その他

（講義、演習、実験、実習、実技、その他、から選ぶ）

開講時期

2023年8月～9月（約5週間）

授業の目的と概要

目的

本授業の目的は、オーストラリアの Macquarie University で開講される約5週間の理系科学英語研修に参加し、英語でのプレゼンテーション力やコミュニケーション力を向上させ、研究者やエンジニアに必要なグローバルな素養を身に着けることである。

概要

本科目の受講生は、オーストラリアの Macquarie University で開講される約5週間の理系科学英語研修に参加する。科学英語に特化した語学レッスンとプレゼンテーションの講義を受けて、参加者全員が科学のトピックスについて英語でファイナルプレゼンテーションを行い現地の教員から評価を受ける。また、科学に関連する講義を英語で受講するとともに研究室など関連施設を見学する。さらに、各受講生に対し、Macquarie University の学生がメンター（Science Buddy）となり、学習や生活のサポートを行う。現地での滞在先は一般家庭でのホームステイとする。帰国後、研修の成果を発表する。

学習目標

本研修に参加することで、受講生が英語でのプレゼンテーションやコミュニケーションに対する苦手意識を克服するとともにレベルアップすることを目標とする。また、各種英語の語学試験の点数が研修前後で上がっていることも目標とする。

履修条件・受講条件

75万円程度の自己負担が必要。（該当者には奨学金の受給あり。詳細は説明会や理学部ホームページの「理系科学英語夏期海外研修」を確認してください。）

授業計画（講義内容）

1. 事前学修

○渡航前セミナー・オリエンテーション 2023 年 6 月～8 月

渡航前に大阪大学において海外生活や英語で授業を受けるために最低限必要な予備知識、健康や安全管理、異文化コミュニケーション等について学ぶ。

[3 時間（3 回×1 時間）]

○事前英語研修

ネイティブの講師により海外生活に必要な実践的英語レッスンを実施する。

[6 時間（2 回×3 時間の予定）]

2. 海外研修

○Macquarie University での英語研修 2023 年 8 月～9 月（約 5 週間）

科学英語に特化した語学レッスン、プレゼンテーションの講義の受講

参加者全員が科学のトピックスについて英語でファイナルプレゼンテーションを実施

科学に関連する講義の聴講、研究室見学など

[英語研修：110 時間（20 日×5～6 時間）、自主学習：20 時間（20 日×1 時間）（予定）]

3. 事後学修

○帰国後報告会 帰国後 1 週間以内

ファイナルプレゼンテーションの内容を再度英語で発表する。

[3 時間]

4. その他

○TOEIC、TOEFL または IELTS の受験 ※自己負担

海外研修の効果を確認するため帰国前後に同種の語学試験を受験し、スコアを提出する。

学修時間計 142 時間

授業外における学習

研修前後で各種語学試験を受験すること。研修までにオーストラリアの文化や習慣について調べておく。各研修で学習した内容の復習、自主学習に励むこと。

成績評価

Macquarie University にて講義およびファイナルプレゼンテーションを修了した学生の評価を達成度に応じて現地の教員が行う。帰国後に、理学研究科の国際交流委員が審査員となり、帰国報告会を実施し、発表内容について評価する。

派遣先での成績 40%、報告会の成績 60%を併せて最終成績とする。

最終成績が 60%に満たなかった学生および帰国後語学試験未受験またはスコアの提出がない学生については、原則修了単位を付与しない。なお、理学部生以外の学生は単位認定について所属学部の教務係に事前に相談すること。